

エッジウェア卿の死

LORD EDGWARE DIES

1999年作品

製作:ブライアン・イーストマン 監督:ブライアン・ファーナム 脚色:アンソニー・ホロウィッツ

日本語版プロデューサー:里口 千 日本語版演出:佐藤 敏夫 日本語版翻訳:宇津木 道子

出演:

ポワロ … デビッド・スーシェ/熊倉 一雄

ヘイスティングス … ヒュー・フレイザー/安原 義人

ジャップ主任警部 … フィリップ・ジャクソン/坂口 芳貞

ミス・レモン … ポーリン・モラン/翠 準子

※ ※ ※

ジェーン・ウィルキンソン … ヘレン・グレース/塩田 朋子

エッジウェア卿 … ジョン・キャッスル/勝部 演之

カーロッタ・アダムス … フィオーナ・アレン/野沢 雅子

ブライアン・マーティン … ドミニク・ガード/佐々木 勝彦



© Agatha Christie Ltd (A Chorion Company), ITV Studios Limited in association with A&E Television Networks and Agatha Christie Ltd (A Chorion Company). 1999

ポワロは有名な女優ジェーン・ウィルキンソンから、夫のエッジウェア卿とできるだけ早く離婚したいので、その交渉をしてほしいと依頼される。美女に弱いポワロは、その申し出に応じエッジウェア卿に会うが、彼は離婚承諾の手紙をすでにジェーン宛に送ったと話す。翌日、エッジウェア卿は何者かによって殺害される。しかし、ジェーンをはじめ、関係者には確実なアリバイがあった。

◆円熟のチーム

前話が契機となったか、現役に復帰するポワロ。更に期せずして、投資に失敗したヘイスティングスも南米から帰国し、再会を喜ぶポワロ、レモン、ヘイスティングス、ジャップ。

妻の献身に感謝するヘイスティングスの言葉から、『ゴルフ場殺人事件』で結ばれたベラとのその後が窺えます。ポワロとの食の好みの違いをもう充分心得ているジャップは、ビール持参で晚餐に来訪。4人の再会となると死体がないのが物足りないが、ポワロ復帰となればすぐ現れるとジャップが飛ばすブラック・ジョークの通り、それはすぐに姿を現し…。

ヘイスティングの過剰な愚鈍さがやや気になるものの、プロットの出来の良さ、キャラクターの完成度も手強い、『名探偵ポワロ』の輝かしい王道パターンが改めて確認できる一編。4人の親密さが、このシリーズも円熟の域に至ったことを窺わせるようです。

◆先代ポワロ、先代ジャップ

デビッド・スーシェがこの原作のドラマに出演するのは、米ドラマ『エッジウェア卿殺人事件』(1985)に次いで二度目。本シリーズ開始前にポワロ役として最も評価の高かったピーター・ユスティノフは、実はこのドラマで、“デビッド・スーシェ演ずるジャップ警部”を相手に、ポワロを演じているのです。

◆プロフィール:フェリシティ・レモン

全70話中、32回登場。ポワロ営む探偵事務所の有能なる秘書。原作では、元は、同じくクリスティのミステリで活躍するパーカー・パインの秘書だったことになっていますが、本ドラマシリーズではその前職に関して一切触れられていません。

極端に几帳面なポワロを満足させる事務処理能力、そしてポワロを凌駕する事件記録の分類整理能力を発揮。時に与えられる情報収集の任も臨機応変にこなし、ポワロの謎解きに必要十分な成果をもたらす。誠に頼もしく、欠かせぬ要員としてポワロの事務所に君臨します。

シリーズ初期は、流麗にカールさせた環を連ねる前髪に、秘書然とした眼鏡、地味目な服装、やや浮世離れした言動で、世俗を離れた女史という風情でした。しかし回を追うにつれ、世間的で女性特有の可愛らしさを披露する様に。猫好きで、ラジオドラマを楽しみに聞き、映画俳優に憧れ、体型維持のためスポーツ・クラブに通い、株の投資に一喜一憂する。夫と死別して学生寮の管理人をしている姉フロレンスがいますが、彼女自身はどうやら結婚歴もなく、ポワロと同じく独り身、身持ちの固い女性で通っている様子です。

夢は“完璧な分類整理体系を完成させること”らしいのですが、ドラマで見る限り、それはもはや完成してしまっているのでは?!